

美しい四国づくり委員会における これまでの取り組み紹介



平成19年10月5日
第4回美しい四国づくり委員会

1. 今「美しい四国」を考えるとき

これまでの議論の経緯

第1回委員会 平成17年9月9日開催

第2回委員会 平成18年2月28日開催

美しい四国づくりシンポジウム 平成18年7月1日開催
●「美しい四国づくり」宣言

第3回委員会 平成19年3月1日開催

1. 今「美しい四国」を考えるとき

これまでの議論の経緯

第1回委員会 平成17年9月9日開催

- 「四国の魅力、美しさとは何か」、
「どのような取り組みをすればよいか」
の2つのテーマで意見交換



第2回委員会 平成18年2月28日開催

- 「美しい四国」の基本理念、
「美しい四国づくり」の基本方針、
について議論

1. 今「美しい四国」を考えるとき

これまでの議論の経緯

美しい四国づくりシンポジウム 平成18年7月1日開催

- 基調講演 西村幸夫 教授（東京大学大学院工学系研究科）
演題「心に残る風景づくりと四国」



- パネルディスカッション ～美しさの再発見、広げよう地域の魅力～
コーディネーター 梅原 利行（美しい四国づくり委員会委員長）
パネリスト

◎美しい四国づくり委員会委員

木村 尚三郎 氏（静岡文化芸術大学学長）
西村 幸夫 氏（東京大学大学院工学系研究科教授）
立木 さとみ 氏（立木写真館常務取締役）

◎地域代表

亀井 俊明 氏（鳴門市長）
中村 英雄 氏（NPO法人 新町川を守る会会長）
大南 信也 氏（NPO法人 グリーンバレー理事長）



- 地域代表事例紹介

鳴門市のまちづくり／新町川を守る会の活動／せかいのかみやまに向けた活動

- 「美しい四国づくり」宣言

1. 今「美しい四国」を考えるとき

これまでの議論の経緯

第3回委員会 平成19年3月1日開催

- 「美しい四国づくり」の情報発信やモデルプロジェクトの対象や進め方について議論
- 四国らしい美しさというものをしっかりとらえ、四国各県で統一した景観づくりの取り組み（条例等）をつくれないうという提案

「美しい四国づくり」の理念、基本方針、宣言

《理念》

◆ 人々を包み込む
心の原風景

◆ 風景と調和した
新たな美の創造

◆ 四国人の
心の美しさ

◆ 「四国はひとつ」
つながりあう魅力

《基本方針》

ふるさとの美しい
原風景の保全・継承

調和が生み出す
新しい魅力の創造

四国に根付く心の美しさ
を活かした取組

四国の美のトータル・
コーディネート

《宣言》

美しい四国づくり宣言

2. 「四国の美」の基本理念

《四国の美の基本理念》

- ◆人々を包み込む 心の原風景
- ◆風景と調和した 新たな美の創造
- ◆四国人の心の美しさ
- ◆「四国はひとつ」つながりあう魅力

2. 「四国の美」の基本理念

《四国の美の基本理念》

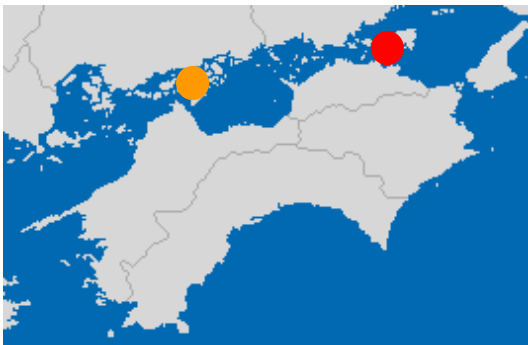
◆人々を包み込む心の原風景

- 変化に富んだ手付かずの美しい自然
- 個性的な発展を遂げた街。
- 農村や漁村などの人々の営みが織り成す風景。

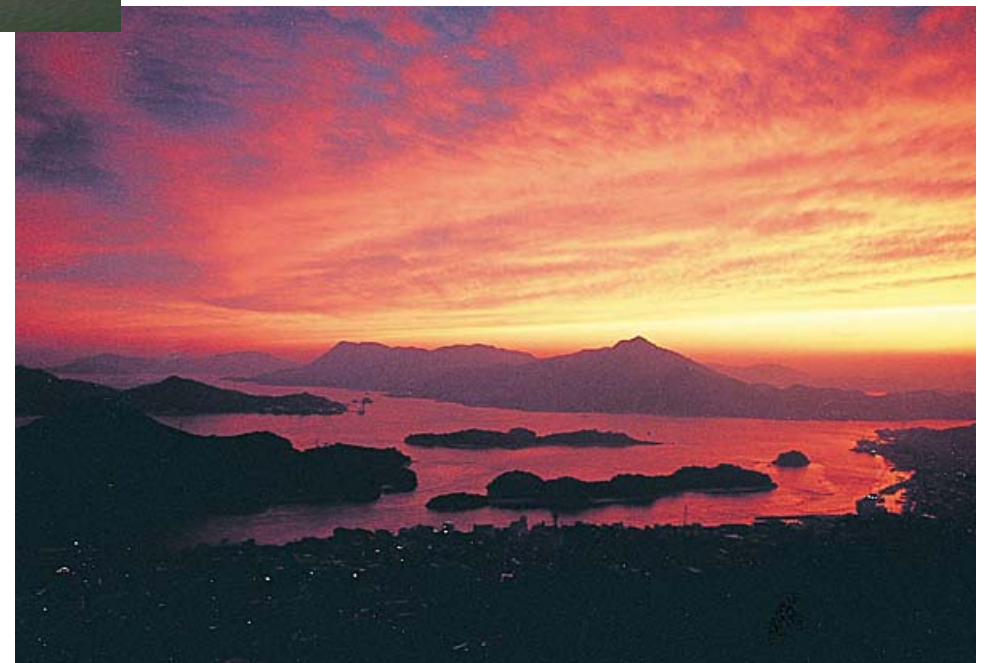
瀬戸内海の多島美



● 小豆島エンジェルロード(天使の散歩道)
(香川県土庄町)



● 因島公園からの夕景

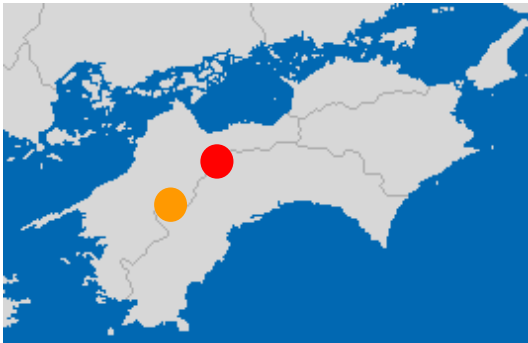


四国内の山々



● 石鎚山(愛媛県西条市)

● 四国カルスト(愛媛県久万高原町)



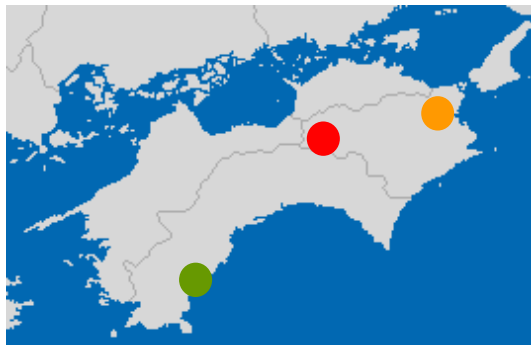
四国内の清流、溪谷



● 大歩危峡(徳島県)



● 四万十川(高知県)



● 吉野川(徳島県)



四国内の海岸

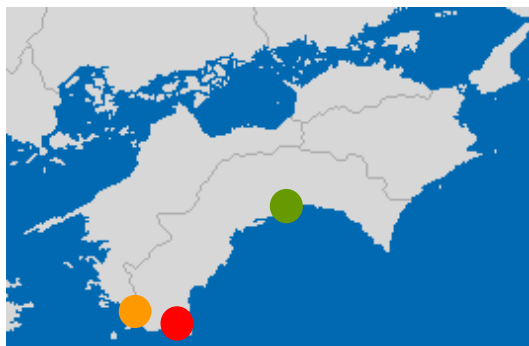


● 足摺岬(高知県土佐清水市)



● 桂浜(高知県高知市)

● だるま夕日(高知県宿毛市)



2. 「四国の美」の基本理念

《四国の美の基本理念》

❖ 人々を包み込む心の中風景

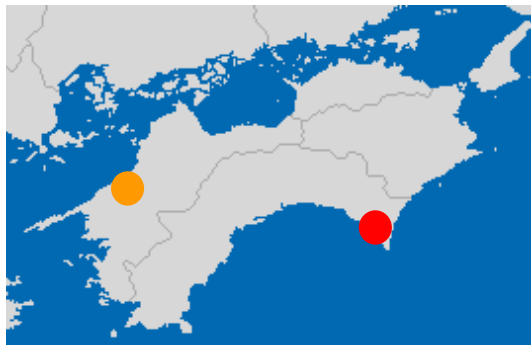
- 変化に富んだ手付かずの美しい自然
- 個性的な発展を遂げた街。
- 農村や漁村などの人々の営みが織り成す風景。

歴史や文化と調和した個性的な街



● 吉良川町伝統的建造物群保存地区
(高知県室戸市)

● 八日市・護国のまち並み(愛媛県内子町)

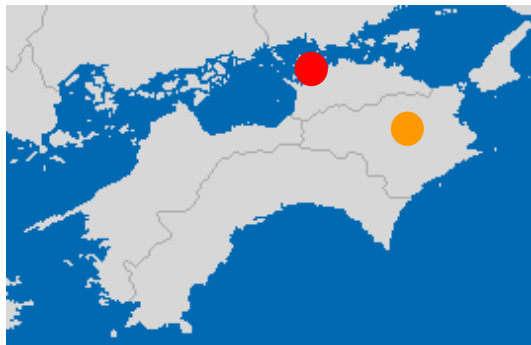


歴史や文化と調和した個性的な街



● うだつの街並み（徳島県・美馬市脇町）

● 本島町笠島集落（香川県丸亀市）



2. 「四国の美」の基本理念

《四国の美の基本理念》

◆人々を包み込む心の中風景

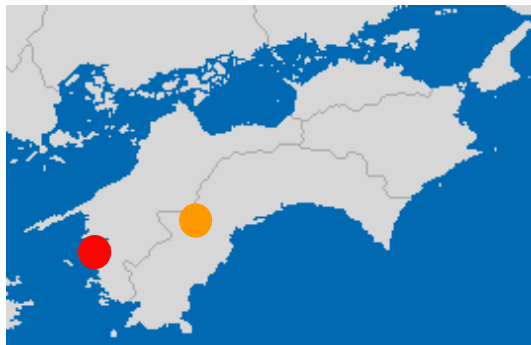
- 変化に富んだ手付かずの美しい自然
- 個性的な発展を遂げた街。
- 農村や漁村などの人々の営みが織り成す風景。

農村や漁村など人の営みと調和した美しさ



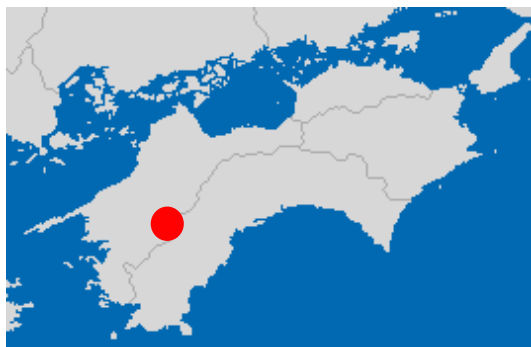
● 茶畑(高知県津野町)

● 宇和海の養殖いかだ(愛媛県宇和島市)





かんざいこ
● 神在居の千枚田
(高知県檜原町)





ゆす
● 遊子の段畑(愛媛県宇和島市)



2. 「四国の美」の基本理念

《四国の美の基本理念》

◆風景と調和した新たな美の創出

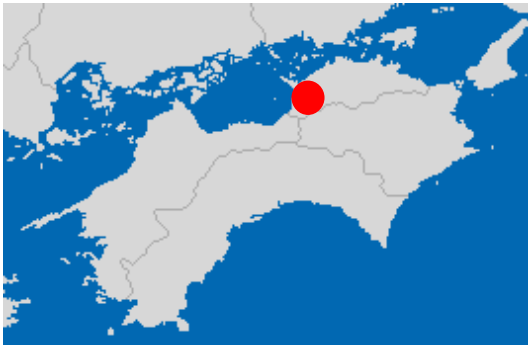
- 厳しい自然や不便さを克服するために作り上げてきた人工構造物は、
- 自然と融合し、自然とのコントラストを見せて、個性的な風景となっている。

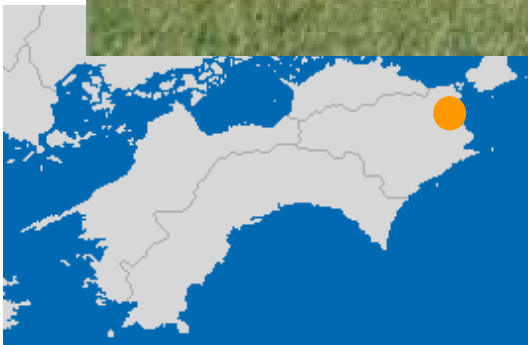
日本最古のマルチプルアーチダム(多連式)

香川県の土木遺産



● 豊稔池堰堤(香川県観音寺市)





● 佐古配水場(徳島市)

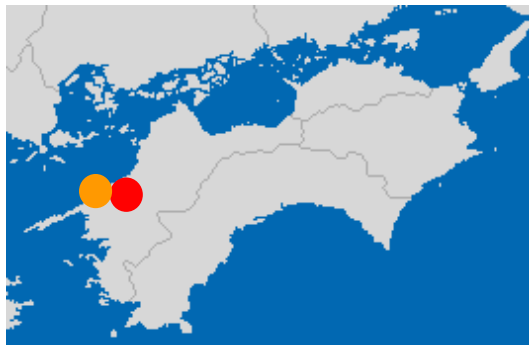
切妻屋根・杉皮葺き・橋台野面石乱積の屋根付き橋

愛媛県の土木遺産



日本現役最古の道路可動橋

● 田丸橋に代表される内子町周辺の
屋根付き橋(内子町)



● 長浜大橋
(大洲市)

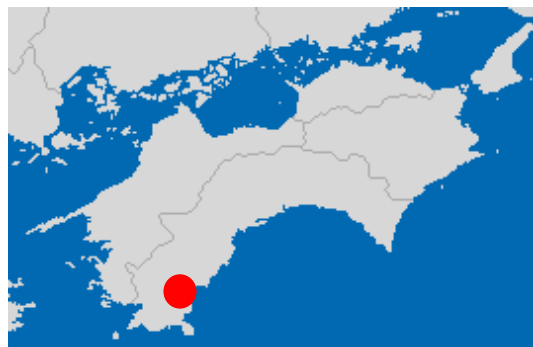
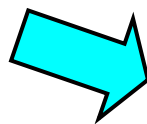


洪水時に水に沈む沈下橋(四万十川に47本残る)

高知県の土木遺産



● 佐田の沈下橋(四万十市)

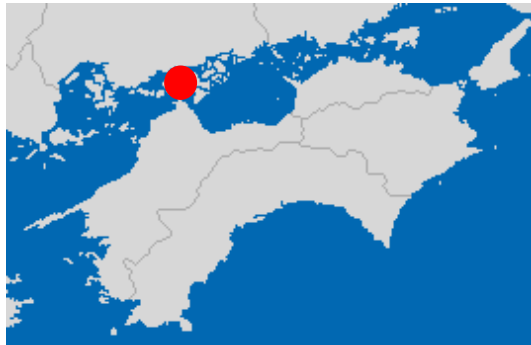


瀬戸内海と調和した構造物

四国の土木遺産



● 瀬戸内しまなみ海道



2. 「四国の美」の基本理念

《四国の美の基本理念》

◆ 四国人の心の美しさ

- 四国には、自分たちの地域を自分たちの手でふるさとを守り育む「**普請の精神**」が根付いている。
- お遍路さんをはじめ訪れる人々に暖かくもてなす「**お接待の心**」も受け継がれている。
- こうした「**心の美しさ**」も四国の大切な宝。

四国人の心の美しさ



四国伝統のお遍路文化とお接待の精神



遍路道修復の ボランティア作業

2. 「四国の美」の基本理念

《四国の美の基本理念》

◆「四国はひとつ」つなぎあう魅力

- 四国は一周約1,400km海に囲まれた独立した地域。
- ここに、原風景や人々の営みにより創造された風景、そして人々のふれあいなど、**さまざまな美しさを醸成**している。
- 遍路道のように「**四国がひとつ**」につながったとき、トータルな美の世界、それこそが**四国の魅力**。

遍路道では「四国はひとつ」



43番明石寺



1番霊山寺

88番大窪寺



3. 「美しい四国づくり」の基本方針

《理念》

◆ 人々を包み込む
心の原風景

◆ 風景と調和した
新たな美の創造

◆ 四国人の
心の美しさ

◆ 「四国はひとつ」
つながりあう魅力

《基本方針》

ふるさとでの美しい
原風景の保全・継承

調和が生み出す
新しい魅力の創造

四国に根付く心の美しさ
を活かした取組

四国の美のトータル・
コーディネート

3. 「美しい四国づくり」の基本方針

《「美しい四国づくり」の基本方針》

●ふるさとの美しい 原風景の保全・継承

失われつつある
四国の美しい自然、
農村・漁村、歴史的街並みを
保全、修復、再生し、
後世まで伝えていく。

3. 「美しい四国づくり」の基本方針

◆ふるさとの美しい原風景の保全・継承

●歴史的街並みの保全

(徳島県・脇町うだつの街並み)

- ・有名作家の絶賛による町内外の注目、
- ・地域住民も町並みのすばらしさ、価値を認識。
強いリーダーシップの存在

●瀬戸内花いっぱい運動

(香川県・詫間町 志々島)

- ・美しさに関する参加者の強い思い
- ・かつての島を再生するという共通の価値認識

①ふるさとと美しい原風景の保全・継承

□歴史的街並みの保全
(徳島県・美馬市)



□瀬戸内花いっぱい運動
(香川県・詫間町 志々島)



3. 「美しい四国づくり」の基本方針

◆ふるさとの美しい原風景の保全・継承

●森林保全・再生／植林活動（高知県・梶原町） （主として間伐）

- ・地域の交流資源（文化・食材と間伐）、
都市との交流、河川の上下流で水源を守る

●棚田の保全／棚田のオーナー制度 （徳島県・上勝町）

- ・地域存続に係わる危機的状況の共通認識、
交流の輪により負担を分担

①ふるさとの美しい原風景の保全・継承

□森林保全・再生／植林活動
(高知県・梶原町)
(主として間伐)



□棚田の保全／棚田の
オーナー制度
(徳島県・上勝町)



3. 「美しい四国づくり」の基本方針

《「美しい四国づくり」の基本方針》

●調和が生み出す新しい魅力の創造

景観を阻害する人工物の排除や、
景観と調和した施設などの整備により、
新しい魅力を吹き込んだ
空間づくりを進める。

3. 「美しい四国づくり」の基本方針

◆調和が生み出す新しい魅力の創造

●電線類の地中化事業 (徳島県・徳島市)

- ・関係者の合意形成における良好な道路空間の創出

●自然景観に調和した公共空間の整備

・・・木製防護柵

(香川県・まんのう町)

- ・美しさに関する参加者の強い思い
- ・地場産品を活用した木製防護柵
- ・周辺景観に配慮するという意識の醸成

②調和が生み出す新しい魅力の創造

□電線類の地中化事業
(徳島県・徳島市)



□自然景観に調和した公共空間の整備／四国スタンダード
(香川県・まんのう町)



3. 「美しい四国づくり」の基本方針

◆調和が生み出す新しい魅力の創造

●現代アートとの融合による新しい美の創造 (香川県・直島町)

- ・民間企業との協働と連携
- ・民間企業と地域振興への寄与

●空き店舗を利用した放置自転車対策 (香川県・高松市)

- ・地域自らが課題を改善(空間の有効利用)
- ・関係者の地域を良くしようと意識の醸成

②調和が生み出す新しい魅力の創造

□現代アートとの融合による
新しい美の創造
(香川県・直島町)



□空き店舗を利用した
放置自転車対策
(香川県・高松市)



3. 「美しい四国づくり」の基本方針

《「美しい四国づくり」の基本方針》

●四国に根付く心の美しさを活かした取組

現代において風化しつつある
四国伝統の普請、お接待の精神を再興し、
地域で力をあわせて、
美しい四国づくり運動をする。

3. 「美しい四国づくり」の基本方針

◆四国に根付く心の美しさを活かした取組

- ボランティア・サポート・プログラム
／ふれあい四国路（愛媛県・愛南町）
 - ・住民らの活動に対する行政の後押し
 - ・地域が自ら地域を美しくしたいという意識の醸成

③四国に根付く心の美しさを活かした取組

《ボランティア・サポートプログラム》

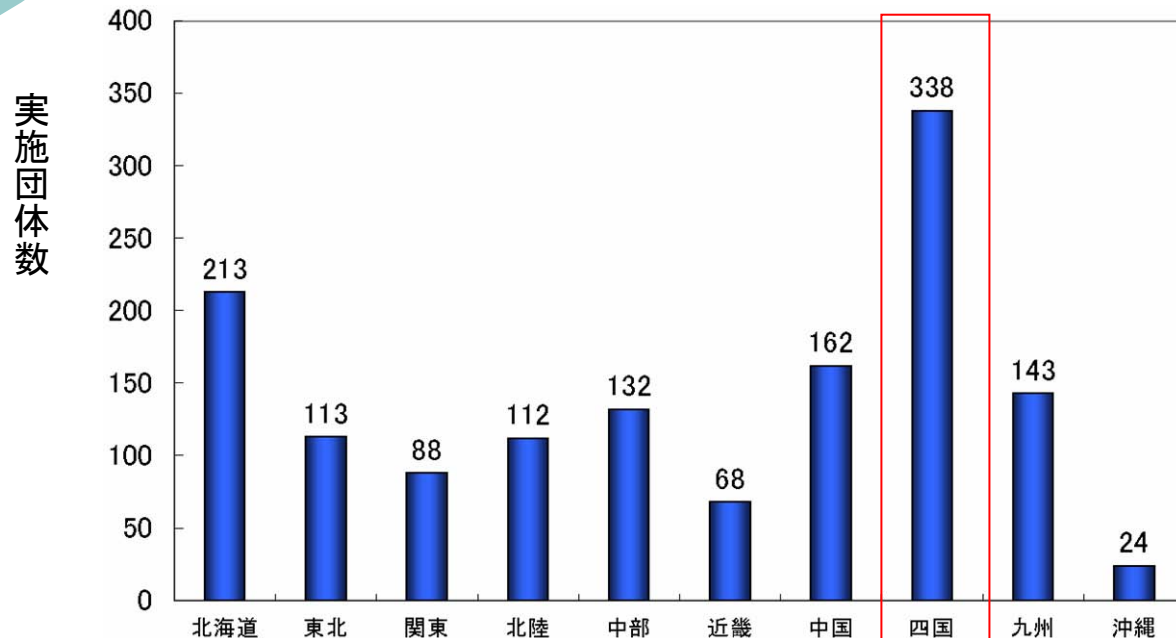
四国において、ボランティア・サポート・プログラム
(ボランティアを活用した道路の清掃・美化制度)に
登録しているボランティア団体数は、**338団体**

➡ **全国の約1／4**

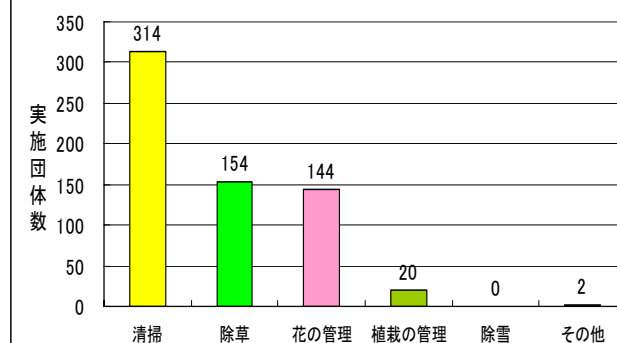
①清掃、②除草、
③花の管理等
を実施

平成18年3月現在

地方ブロック別の実施団体数



四国における団体の活動内容



③ 四国に根付く心の美しさを活かした取組

ロボランティア・サポート・プログラム
／ふれあい四国路(愛媛県・愛南町)



3. 「美しい四国づくり」の基本方針

四国に根付く心の美しさを活かした取組

● 地域主導による美しい河川空間の形成 (徳島県・徳島市)

- ・地域の観光資源と捉えた積極的な取り組み
- ・会自らが主導で運営資金を調達、
支援する行政の存在

③ 四国に根付く心の美しさを活かした取組

《徳島県徳島市（新町川）の取組事例》

川の清掃



ひょうたん島 周遊船



観月演奏会



取り組みの特徴

- ☆徳島市の新町川等の清掃
- ☆吉野川の水源地の山林の植樹活動
- ☆ひょうたん島周遊船、吉野川クルージングの運行
- ☆観月演奏会、あじさいライトアップ等観光イベント



※ひょうたん島

市内中心部を流れる新町川と助任川で囲まれた中州。ひょうたんの形に似ている。

3. 「美しい四国づくり」の基本方針

四国に根付く心の美しさを活かした取組

● 芸術を活かした地域づくり活動

／ 神山アーティスト・レジデンス

(徳島県・神山町)

- ・ 町へアーティストを誘致
- ・ アトリエを訪問し、作家から話を聞く
「オープン・アトリエツアー」
- ・ 大栗山アートウォーク等

③ 四国に根付く心の美しさを活かした取組

《徳島県神山町の取組事例》

・ 神山アーティスト・イン・レジデンス （芸術を活かした地域づくり）

□ オープン・アトリエ・ツアー
作家からの説明の様子



□ 大栗山アートウォークの様子



3. 「美しい四国づくり」の基本方針

❖ 四国に根付く心の美しさを活かした取組

● 住民主導による美しい街並みの創造／たくみの会 (高知県・梶原町)

- ・道路整備の代替地計画等の調整役を
住民主体の団体が主導、
地域住民の強い自立意識、
- ・住民らの活動に対する行政の後押し

● 千代田オーナー制度／千代田ふるさと会 (高知県・梶原町)

- ・棚田の貸し出しによる景観の維持管理

③ 四国に根付く心の美しさを活かした取組

《協働の精神で地域を活性化した例（高知県梶原町）》

□ 地域住民の協働による
道づくり
（高知県梶原町たくみの会）



住民参加による道づくり

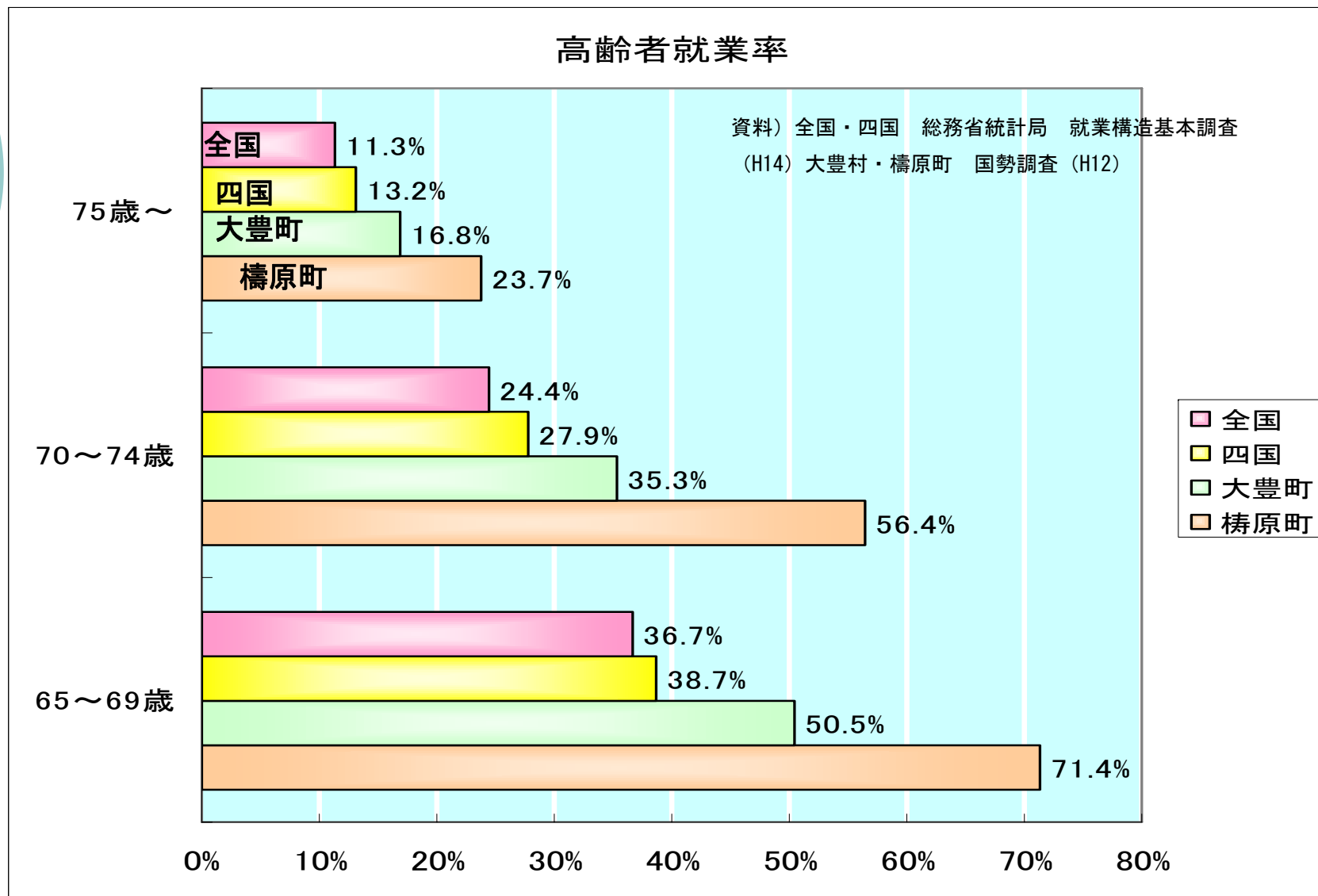
□ 千枚田オーナー制度
（高知県梶原町
千枚田ふるさと会）



出典) 中国四国農政局ホームページ

③ 四国に根付く心の美しさを活かした取組

《協働の精神で地域を活性化した例（高知県梶原町）》



3. 「美しい四国づくり」の基本方針

《「美しい四国づくり」の基本方針》

●四国の美のトータル・コーディネート

四国各地での取り組みをつなぎ合い、
相互に高め合い、
総合的にコーディネートすることによって、
トータルとしての四国の魅力を発揮する。

3. 「美しい四国づくり」の基本方針

◆ 四国の美のトータル・コーディネート

● 歴史文化道

- ・平成9年、四国の官民が一体となって
「歴史文化道推進協議会（会長：四国経済連合会
会長）」を設立.
- ・歴史的テーマを持つ11のモデル地域を設定
- ・地域の資源の活用（地域の物語の継承）

④四国の美のトータル・コーディネート

《歴史文化道（四国の歴史・文化を活かした魅力づくり）》

- ・官民一体で、**四国の歴史・文化資産を活かし、地域に対する誇りと愛着心を高める**
- ・地域の魅力向上による交流人口の増大、中山間地域の活性化 等



□道後温泉(松山歴史文化道)



□金比羅宮(金比羅歴史文化道)



平成9年、四国の官民が一体となって「**歴史文化道推進協議会（会長：四国経済連合会会長）**」を設立.

歴史的テーマを持つ11のモデル地域を設定

④ 四国の美のトータル・コーディネート

歴史・文化道案内板



パンフレット、広報誌、イベント等によるPR



3. 「美しい四国づくり」の基本方針

◆四国の美のトータル・コーディネート

●広域観光ネットワークの景観演出 ／四万十川広域観光推進協議会 (高知県西南地域)

- ・「日本最後の清流」というブランド意識、
観光資源としての価値認識の共有
- ・四万十川を守るという参加者それぞれの強い思い、
官民連携体制

④四国の美のトータル・コーディネート

《高知県四万十川の取組事例》

＜広域観光ネットワークの景観演出

/四万十川広域観光推進協議会（高知西南地域）＞

高知県西南地域の新しいコミュニティロードづくり

四万十かいどう

四万十かいどう観光ルート

1

アカメに会える道

（四万十市から旧十和村
旧土佐佐村経由四万十市ルート）



毎年10月に開催され、日本全国からの参加者が1,000人を超える四万十川ウルトラマラソンコースです。このマラソンコースは、100kmコースで、当日は地域ボランティアも参加し、選手をもてなします。観光資源は、四万十川です。

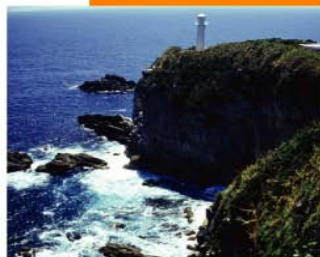


四万十かいどう観光ルート

2

だるま夕日が見える道

（四万十市から土佐清水市、大月町、宿毛市経由四万十市ルート）



足摺サニーロードと、既にネーミングされ、足摺宇和海国立公園コースで観光資源は、電車海中公園、「道の駅」、柏島等、多数あります。



四万十かいどう観光ルート

3

クジラに会える道

（四万十市から黒潮町、旧窪川町、
旧大正町経由四万十市ルート）

黒潮町の大規模公園から四万十川の中流区域を通過するコースで観光資源は、砂浜美術館、ホエールウォッチング「道の駅」等、多数あります。



四万十かいどう観光ルート

4

サンショウウオに会える道

（四万十川源流
梅原町から旧大野見村ルート）

四万十川源流を巡るコースです。龍馬脱藩の道など、観光地が多数点在しています。



④ 四国の美のトータル・コーディネート

□ 広域観光ネットワークの景観演出
／ 四万十川広域観光推進協議会（高知県西南地域）



④ 四国の美のトータル・コーディネート

取り組みの広がり

各地で行われているそれぞれの取り組みが広がり、新たなイベントや取り組みを生んでいます。

大月町・桜の保護活動

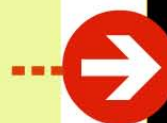


貴重な「アシズリサクラ」を広く紹介し保護する取り組みが、「元気な地域づくり」「地域の貴重な情報を発信」するための「夜桜コンサート（音楽会）」開催へと発展しました。

四万十市・ライトアップの取り組み



この取り組みが広がり、大月町のイベントでも開催することになりました。今後はさらに連携し、四国西南地域という広域での「ライトアップ」開催を目指します。



白ひの咲く山桜
それは貴い。大月町長沢の一本桜
幹が太い。根が深く。枝が広がる。花が咲く。それは、大月町の歴史。それは、大月町の文化。それは、大月町の未来。

長沢・月光桜

夜桜音楽会

2007.4/7 (土) 夕刻 へろろく点灯 18:30~音楽会開始

会場 大月町大月公民館
※旧大月中学校（駐車場）から徒歩（灯籠を歩いて会場へ）

■夜桜・クラシック
■大月町立音楽部・ピアノ・声楽部
■大月町立音楽部・ソプラノ・ピアノ・チェロ・コントラバス・打楽器部
■2007年3月、フィジー島において「マナ・音楽祭」を開催予定。
顧問：大月町立音楽部顧問・大月町立音楽部顧問

■ピアノ 佐藤 浩実

■クラリネット 徳元 由加

■地域のみんなで音楽会
■地域のみなさんや子ども達による音楽会。合唱や合奏など、どんな音楽を奏でてくれるでしょうか。楽しみに。

会場 大月町大月公民館
※旧大月中学校（駐車場）から徒歩（灯籠を歩いて会場へ）

■主催 四万十市・四万十市推進協議会 大月支部 後援 大月町
＜夜桜コンサート開催事務局・お問い合わせ＞ 大月町農工会 TEL:0880-73-0135 FAX:0880-73-0134
※このポスターは事前告知用です。詳細は完成版ポスターでお知らせの予定です。詳しくはお問い合わせください。※雨天順延又は中止 大月町農工会

▲夜桜コンサート：

「桜」「ライトアップ」を活かし、地域主体の継続性のある「手作りイベント」として開催予定。

3. 「美しい四国づくり」の基本方針

◆ 四国の美のトータル・コーディネート

● 四国ふるさと普請の取り組み (四国地方整備局)

- ・ 交流の拡大が更なる取り組みの増進につながる好循環の形成
- ・ やりがいのある元気な地域づくりの取り組みの推進

④四国の美のトータル・コーディネート

《「四国ふるさと普請」への整備局の取り組み》

「四国ふるさと普請」とは
四国の活性化に向けて、
四国各地のボランティア活
動のさらなる展開をはかり、
地域と行政の協働による
元気で活力ある地域づくり
を目指す取り組み。

□四国ふるさと普請大会



④四国の美のトータル・コーディネート

《平成18年度の取り組み》

活動の交流

「地域での会」開催

ねらい① 継続

⇒これまでの活動、今後の活動をつなぐ

ねらい② つなぐ

⇒様々な人と人、団体間との交流を促進する

ねらい③ 担い手づくり

⇒次代のリーダー発掘、担い手を育成する

情報の交流

四国ふるさと普請HP開設

地域づくりの情報発信、情報共有、
意見交換の場を開設

ホームページ コンテンツ

・ネット座談会

・最新イベント情報

・活動団体のPR

・四国の元気人紹介

地域づくり活動団体が主体の会で、
意見交換、情報交換を実施

H18.10.22開催



徳島

神山アーティスト・イン・レジデンス
(オープンアトリエツアー)

H18.12.2開催



香川

四国ふるさと普請 in 直島
(夜なべ談義で活動の悩み解決)

H18.11.26開催



愛媛

南予はおいしいぞ in 岩松
(町並み保存活動の中心、酒蔵で交流)

H18.10.21開催



高知

風景を活かした地域づくりフォーラム
(風景から地域の魅力再発見)

「美しい四国づくり」の理念、基本方針、宣言

《理念》

◆ 人々を包み込む
心の原風景

◆ 風景と調和した
新たな美の創造

◆ 四国人の
心の美しさ

◆ 「四国はひとつ」
つながりあう魅力

《基本方針》

ふるさとの美しい
原風景の保全・継承

調和が生み出す
新しい魅力の創造

四国に根付く心の美しさ
を活かした取組

四国の美のトータル・
コーディネート

《宣言》

美しい四国づくり宣言

4. 「美しい四国づくり」宣言

瀬戸内海の美しい島々、見上げる山々、清流と溪谷、そしてお遍路文化。四国に残された豊かな自然や歴史・文化、ふるさとの原風景は、かけがえのない日本の宝です。

これからの「心」の時代に、これらを活かし、人々の心を温かく包み込む、五感に訴え、心の安らぎを与える美しい四国を築いていくことが大切です。そのため、四国伝統の普請やお接待の精神を大いに発揮し、心をひとつに、「住んで良し、訪れて良し」の四国づくりを進めます。そして、この魅力ある四国を、国内はもちろん世界に発信していきます。すばらしい四国の未来を願って、ここに美しい四国づくりを宣言します。

4. 「美しい四国づくり」宣言

◎ふるさとの原風景を守り育て、いきいきとした人々の営みにより、美しい四国を創造します。

《基本となる視点》

- 自分たちの地域や暮らしをどうするかを自分達で考え、改善していく。
- 風景づくりは、地域から守る努力をしてこそ配慮される。
- 地域主役、行政支援の精神のもとで実施する地域づくりは、企業も行政も参加する地域全体の展開につながり、子ども達に地域の良さを伝えていく。



4. 「美しい四国づくり」宣言

◎ふるさとの原風景を守り育て、いきいきとした人々の営みにより、美しい四国を創造します。

◎地域の自然や文化に誇りと自信を持ち、おしゃれで洗練された魅力へと磨きをかけていきます。

《基本となる視点》

- 地域のいいところをみんなに見てもらい、地域のありふれた風景を外部の人の新鮮な目を通じて、地域の資源を洗い直す。
- 地域間において、適度な競い合いが互いの魅力を磨くこともある。

4. 「美しい四国づくり」宣言

◎ふるさとの原風景を守り育て、いきいきとした人々の営みにより、美しい四国を創造します。

◎地域の自然や文化に誇りと自信を持ち、おしゃれで洗練された魅力へと磨きをかけていきます。

◎四国内外に交流の輪を広げ、おもてなしの心をもって、訪れる人々を心から歓迎します。

《基本となる視点》

- おもてなしの心で暖かく旅人を迎え、四国内外の他の地域の人々と語り合う機会を増やす。
- 訪れる人の立場にたって、人のこころを動かす情報を伝えることが大切である。

4. 「美しい四国づくり」宣言

《基本となる視点》

- ◎ふるさとの原風景を守り育て、いきいきとした人々の営みにより、美しい四国を創造します。
- ◎地域の自然や文化に誇りと自信を持ち、おしゃれで洗練された魅力へと磨きをかけていきます。
- ◎四国内外に交流の輪を広げ、おもてなしの心をもって、訪れる人々を心から歓迎します。
- ◎地域をつなぎあい、「四国はひとつ」の取組を進め、四国ブランドを世界に情報発信します。

- 地域が競い合ってよいものをつくる。
- アイデンティティをもって自立した個々の地域が連携・交流することにより、地域の魅力を磨く。
- 四国全体として統一的な景観コンセプトをつくる。

4. 「美しい四国づくり」宣言

◎ふるさとの原風景を守り育て、いきいきとした人々の営みにより、美しい四国を創造します。

◎地域の自然や文化に誇りと自信を持ち、おしゃれで洗練された魅力へと磨きをかけていきます。

◎四国内外に交流の輪を広げ、おもてなしの心をもって、訪れる人々を心から歓迎します。

◎地域をつなぎあい、「四国はひとつ」の取組を進め、四国ブランドを世界に情報発信します。

5. 「美しい四国づくり」の今後の展開

《理念》

◆ 人々を包み込む
心の原風景

◆ 風景と調和した
新たな美の創造

◆ 四国人の
心の美しさ

◆ 「四国はひとつ」
つながりあう魅力

《基本方針》

ふるさとの美しい
原風景の保全・継承

調和が生み出す
新しい魅力の創造

四国に根付く心の美しさ
を活かした取組

四国の美のトータル・
コーディネート

《宣言》

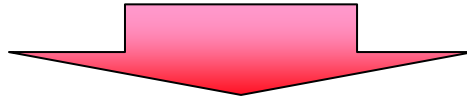
美しい四国づくり宣言

5. 「美しい四国づくり」の今後の展開

《今後の展開》

美しい四国づくり宣言

「美しく、楽しく、住みやすい、自慢の地域づくり」を進めることを提唱



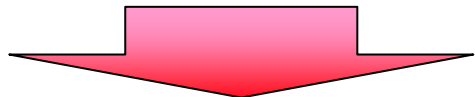
目指していく方向

- ◆風景を美しくする
- ◆美しい気持ちを持った人を育てる
- ◆人と人の交流・連携による地域コミュニティの再生を図る

5. 「美しい四国づくり」の今後の展開

《今後の展開》

美しい四国づくり宣言



宣言を活かした地域づくり
を四国全域で展開



美しい四国づくり宣言を
生かした四国四県の実践指針を作成・・・

《委員会の役割》

運動推進機関

- ・取組指針、施策へのアドバイス
- ・取り組み状況のフォローアップ

